教育研究評議会議事録

令和７年５月１４日（水）
１５時15分から１６時45分まで
法人本部３階　第一会議室

出席者
議　長　　玉手英利（学　長）
評議員　　飯塚　博　　出口　毅　　根本建二　　宮内健二　　伊藤眞知子　　纐纈　晃（理　事）
　　村山秀樹　　大森　桂　　コーエンズ久美子　　伊藤浩志（副学長）
　　森岡卓司　　中島　宏
　　中西正樹　　津留俊英
　　並河英紀　　宮地義之
　　永瀬　智　　今田恒夫
　　黒田充紀　　野々村美宗
　　渡部　徹　　塩野義人
　　渡邉信晃　　奥野貴士
　　森　秀晴　　千代勝実
　　土谷順彦　　大西彰正
　　内海由美子　布施淳子
　　高澤由美　　木村直子
陪席者
監　事　　小屋　寛　　大森夏織
学長補佐　坂本直樹　　矢口友理　　河合寿子　　古瀬みどり　　皆川真規　　長峯邦明　　斎藤昌幸

玉手学長から，５月１日から新評議員となった森評議員の紹介があった。

１教育研究評議会（4月９日開催）議事録について
玉手学長から，前回４月９日開催の本会の議事録（案）について確認があり，議事録が了承された。

２【協議】令和８年度入学者選抜要項について
出口理事から，令和８年度入学者選抜要項について，昨年度からの主な変更点を含め，公表内容について審議願うものである旨説明があった。
次いで，玉手学長から，本件について諮られた結果，原案どおり了承された。

３【協議】ダブル・ディグリープログラムに関する協定締結の取扱い等について
村山副学長から，ダブル・ディグリープログラムに関する協定締結の取扱い等について審議願うものである旨説明があった。
次いで，玉手学長から，本件について諮られた結果，原案どおり了承された。

４【協議】令和８年度以降の教員人事の基本的な考え方について
宮内理事から，令和８年度以降の教員人事の基本的な考え方について審議願うものである旨説明があった。
次いで，玉手学長から，本件について諮られた結果，改めて審議することとなった。

本件に係る主な意見及び質疑応答は次のとおり。[評議員からの主な意見等（○：意見・質問)]
○令和８年度は，原則として，教員ポイントによる新規採用は行わないということだが，地域医療や医師の確保が困難にならないよう配慮していただきたい。
→具体的な運用については，ご指摘いただいた内容も含めて教員人事委員会で議論しながら審議したい。
→全学で共通の目標に取り組むので，次のステップである教員人事委員会で具体的に議論し，方針として明示していきたい。
○教育研究評議会において削減するポイントまで決定する必要があるのであれば，部局長以外の評議員にもわかるよう，数値に関する根拠資料もお示しいただいた方がよろしいのではないか。今回の教育研究評議会では，どこまで協議するのか。
→社会情勢等で変わっていくところもあると思うが，ある程度中期的なゴールを示したいと考え，収支バランスがとれるであろう大まかな数値として，令和１３年度期首の教員ポイント数を提示している。資

料にも記載のとおり，当該目標は，令和９年度中に見直しを予定している。
→本会で協議いただきたいのは，本件に係る資料全体についてである。
→詳細なシミュレーションデータを追加で提示する。
→「令和８年度の教員人事においては、原則として教員ポイントによる新規採用は行わない」とすることについては，今回の教育研究評議会で確定とする。
○財政難の状況は理解しているが，教職員の処遇確保だけのために教員ポイントを削減するというメッセージに読める。学生のために，教育費を捻出するという考えはないのか。
→そういう視点が欠けているという意見があり，資料Ａの１のとおり教育プログラム改善のために必要であるというメッセージにしたが，これでは不十分ということか。
○この表記は，人件費を減らしても，皆が協力すれば授業カリキュラムが運営できる，と記載しているだけで，教育費が捻出されるという表現では決してない。間違ったメッセージになってしまうことを懸念するので，文言の修正を検討していただきたい。
○昇任を待っている若手で優秀な人材が，きちんと昇任できるよう，検討してほしい。
→前々回の教育研究評議会において，令和１３年度までに昇任も可能にしたいとお知らせしている。
○それでは遅い。多くの人は，来年度という直近のことを意識している。早めに検討し，メッセージを発出してほしい。
→令和８年度，令和９年度の昇任人事を実施するためには，全学的なポイントを一回集めて，再配分が必要な部局もある。厳しい状況の中で，教育プログラムの改善を最優先の課題として，いろいろなところを切り詰め，その分を投資することを全学的にご理解いただけるのであれば，メッセージを出していきたい。教育機関としてどのように機能を維持していくか，個別の部局の事情のみでなく，全学でやっていく意識が必要である。
→学生教育のために，教職員の処遇を確保するという記述に整理した。このような意味合いを捉えていただきたい。

５【協議】山形大学におけるサイバーセキュリティ対策等基本計画（令和７～９年度）について
飯塚理事から，山形大学におけるサイバーセキュリティ対策等基本計画（令和７～９年度）について審議願うものである旨説明があった。
次いで，玉手学長から，本件について諮られた結果，原案どおり了承された。

６【報告】本学における情報セキュリティインシデントの発生について
宮内理事から，議題に関して，報告があった。

７【報告】令和８年度山形大学入学定員の見直しについて
宮内理事から，議題に関して，報告があった。

８【報告】令和７年度運営費交付金成果を中心とする実績状況に基づく配分について
根本理事から，議題に関して，報告があった。

本件に係る主な意見及び質疑応答は次のとおり。［評議員からの主な意見等（○：意見・質問）］
○常勤教員数のカウントの仕方によって，スコアが高くなっている大学があるようだ。本学は理学部と工学部があり，大学院には理工学研究科の理学系，工学系，いずれでもない新専攻がある。また，有機材料システム研究科もある。本学でもできるだけオーバーラップしないよう，注意深く制御していただきたい。
→可能な限り調べさせていただくので，何か情報があれば提供していただきたい。

９【報告】令和７年度「山形大学山澤進奨学金」等の新規採用者について
伊藤理事から，議題に関して，報告があった。

10【報告】令和７年度施設営繕費予定事業について
纐纈理事から，議題に関して，報告があった。

11【報告】就職決定状況（令和６年度最終）について
伊藤理事から，議題に関して，報告があった。

12【報告】山形大学における各種協定締結報告について
宮内理事から，議題に関して，報告があった。

13【その他】次期中期目標・中期計画等について
玉手学長から，議題に関して，報告があった。

次回は，令和 7 年 6 月 11 日（水）に開催することとなった。